

2022 年度
音楽学科入試課題
推薦入学試験 M

※外国人留学生入学試験もこの入試課題を使用します

同志社女子大学

目 次

● 演奏専攻入試課題（推薦入学試験M、外国人留学生入学試験 共通）	
声楽コース	1
鍵盤楽器コース	2
：ピアノ	2
：オルガン	3
：チェンバロ	5
管弦打楽器コース	6
：ヴァイオリン	6
：ヴィオラ	7
：チェロ	9
：コントラバス	10
：ハープ	11
：フルート	12
：オーボエ	13
：クラリネット	14
：ファゴット	15
：サクソフォーン	16
：ホルン	17
：トランペット	18
：トロンボーン	19
：ユーフォニアム	20
：チューバ	21
：打楽器（小太鼓で受験する場合）	22
：打楽器（マリimbaで受験する場合）	23
打楽器楽譜	24
● 音楽文化専攻入試課題（外国人留学生入学試験のみ）	25
● 複数の専攻・入試コースを併願する場合（外国人留学生入学試験のみ）	26
● 2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）	
.....	別紙

声楽コース

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 課題曲

イタリア歌曲集第1巻および第2巻（全音楽譜出版社、1971年版以降のもの）の中より、
任意の3曲を選択すること
その3曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(2) 自由曲

任意に選んだ1曲を演奏すること
ただし、上記(1)課題曲で選んだ3曲は除く

* 当日は係員の指示により、(1)から(2)の順で演奏すること

* 課題曲および自由曲とも歌詞は原語とし、暗譜で演奏すること

* 伴奏者は本学で用意する

* 前奏、間奏、後奏以外の省略は認めない

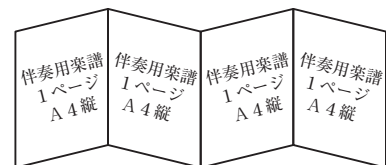
* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1)課題曲、(2)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

* ピアノ伴奏者用に、課題曲と自由曲の楽譜を各2部、出願書類に同封し提出すること。

提出する楽譜は、各ページの大きさをそれぞれA4縦とし、1部ずつ、すべてのページが一度に開くように、右図を参照して綴じること。また、楽譜に氏名等は記入しないこと。なお、提出された楽譜は返却しない。



※折りたたんで提出すること

鍵盤楽器コース：ピアノ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) J. S. Bach

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること

その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
を演奏すること

ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを
演奏すること

(2) 自由曲

1曲あるいはそれ以上の曲数で5分以上を演奏すること

複数の作曲家も可とする

ただし、(1) J. S. Bach および (3) 練習曲であげられている曲（J. S. Bach：3声のシンフ
ォニア、平均律クラヴィーア曲集第1巻・第2巻、フランス組曲、M. Moszkowski：15の
練習曲 op. 72、F. Chopin：練習曲 op. 10, op. 25、F. Liszt：Zwei Konzert Etüden, Drei
Konzert Etüden, Paganini Etüden）を除く

(3) 練習曲

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) M. Moszkowski：15の練習曲 op. 72より任意の1曲を演奏すること

(b) F. Chopin：練習曲 op. 10, op. 25より任意の1曲を演奏すること

ただし、op. 10-3, op. 10-6 および op. 25-7を除く

(c) F. Liszt：Zwei Konzert Etüden（全2曲）、Drei Konzert Etüden（全3曲）、
Paganini Etüden（全6曲）より任意の1曲を演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* J. S. Bach, 自由曲, 練習曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実
技の (1) J. S. Bach, (2) 自由曲, (3) 練習曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後
の変更は認めない。

鍵盤楽器コース：オルガン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●オルガンで受験する場合

(1) J. S. Bach の Orgelbüchlein BWV599 ~ BWV644 の中より、任意の3曲を選択すること
その3曲の中より2曲を、当日試験場で指定する

(2) 次の曲の中から任意の1曲を演奏すること

J. S. Bach : Präludium und Fuge

- a) ホ短調 BWV533 b) ニ短調 BWV539
c) ト長調 BWV541 d) ハ長調 BWV545
e) ハ長調 BWV547

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* いずれも楽譜を見て演奏してもよい

* 譜めくり等アシスタントを必要とする場合は、本学で用意する

* 楽器は本学のものを使用すること (クライス社製オルガン 2段手鍵盤 16ストップ 平行ペダル)

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

* 専門実技の試験前に、レジストレーションのための時間を与える

* オルガンの仕様は下記のとおり

<i>I Hauptwerk</i> C - g ³	<i>II Brustwerk</i> C - g ³ (schwellbar)	<i>Pedal</i> C - f ¹
Gemshorn 8'	Holzgedackt 8'	Pommer 16'
Rohrgedackt 8'	Blockflöte 4'	Pommer 8'
Principal 4'	Principal 2'	Spitzflöte 4'
Holztraverse 4'	Larigot 1 1/3'	Spitzflöte 2'
Waldflöte 2'	Krummhorn 8'	
Sesquialter I-III	Tremulant	
Mixtur III		

カプラー I-P, II-P, II-I

●ピアノで受験する場合

(1) J. S. Bach

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること

その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲 (プレリュードとフーガ) を演奏すること

ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを演奏すること

注：次のページに続く

(2) 自由曲

1曲あるいはそれ以上の曲数で5分以上を演奏すること

複数の作曲家も可とする

ただし、(1) J. S. Bach および (3) 練習曲であげられている曲 (J. S. Bach : 3声のシンフォニア, 平均律クラヴィーア曲集第1巻・第2巻, フランス組曲, M. Moszkowski : 15の練習曲 op. 72, F. Chopin : 練習曲 op. 10, op. 25, F. Liszt : Zwei Konzert Etüden, Drei Konzert Etüden, Paganini Etüden) を除く

(3) 練習曲

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) M. Moszkowski : 15の練習曲 op. 72 より任意の1曲を演奏すること

(b) F. Chopin : 練習曲 op. 10, op. 25 より任意の1曲を演奏すること

ただし、op. 10-3, op. 10-6 および op. 25-7を除く

(c) F. Liszt : Zwei Konzert Etüden (全2曲), Drei Konzert Etüden (全3曲), Paganini Etüden (全6曲) より任意の1曲を演奏すること

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* J. S. Bach, 自由曲, 練習曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“オルガンで受験する場合”

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ2. 専門実技の J. S. Bach の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“ピアノで受験する場合”

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ2. 専門実技の (1) J. S. Bach, (2) 自由曲, (3) 練習曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

鍵盤楽器コース：チェンバロ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●チェンバロで受験する場合

(1) 課題曲

下記の (a) (b) より選択した1つと (c) を演奏すること

(a) J. S. Bach：3声のシンフォニアより任意の2曲

(b) J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。ただし第1巻の第4番、第10番、第22番は除く

(c) F. Couperin：L'art de toucher le clavecin よりプレリュード第5番

(2) 自由曲

演奏時間10分以内の、J. S. Bach 以外の作曲家による任意の楽曲を演奏すること（演奏時間10分以内であれば2曲まで可）

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* チェンバロのピッチは415Hzとする

* 課題曲、自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

* 繰り返しは省略すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

●ピアノで受験する場合

(1) J. S. Bach

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること

その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）を演奏すること

ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを演奏すること

(2) ソナタ

J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethoven のソナタより、任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏すること

(3) D. Scarlatti

任意のソナタ1曲を演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* J. S. Bach, ソナタ, D. Scarlatti とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

●2. 専門実技を“チェンバロで受験する場合”

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の (1) 課題曲, (2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

●2. 専門実技を“ピアノで受験する場合”

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の (1) J. S. Bach, (2) ソナタ, (3) D. Scarlatti の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ヴァイオリン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

C. Flesch : Scale System より No. 5 (音階・アルペジオ・3度進行・半音階) を演奏すること
調は任意

ボーイングおよびリズムは C-dur に準ずる
速度, フィンガリングは任意

(2) 練習曲／カプリース

下記の中から任意の1曲を選び、演奏すること

J. Dont	24 Etudes and Caprices op. 35
R. Kreutzer	42 Studies
P. Rode	24 Caprices
N. Paganini	24 Caprices op. 1

(3) 協奏曲

任意の協奏曲より、その第1楽章または終楽章を演奏すること

ただしカデンツァについては、作曲者自身が自作により曲中に納めた場合を除いて省略する
ものとする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*音階, 練習曲／カプリース, 協奏曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1)音階の調, (2)練習曲／カプリース, (3)協奏曲の曲名等を記入の上、出願すること。
なお、提出後の変更は認めない。

*外国人留学生入学試験において「管弦打楽器コース：ヴァイオリン」と「管弦打楽器コース：ヴィオラ」を併願する場合は、26ページを参照すること。

管弦打楽器コース：ヴィオラ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●ヴィオラで受験する場合

(1) 音階

任意の調， 3オクターブ

ただし、短調は和声的短音階または旋律的短音階とする

速度，ボーイング，フィンガリング等の奏法はいっさい自由（任意の教則本等を参考に各自で定めること）

(2) 練習曲

任意の練習曲（ヴィオラ用またはヴィオラ用に編曲されたもの）より、1曲を演奏すること

(3) 課題曲

下記の中から任意の1曲を選び、その指定された楽章を演奏すること

J. Ch. Bach ヴィオラ協奏曲 ハ短調 第1楽章

F. A. Hoffmeister ヴィオラ協奏曲 ニ長調 第1楽章（カデンツァを省く）

G. P. Telemann ヴィオラ協奏曲 ト長調 第1，第2楽章

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階，練習曲，課題曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

●ヴァイオリンで受験する場合

(1) 音階

C. Flesch : Scale System より No. 5（音階・アルペジオ・3度進行・半音階）を演奏すること
調は任意

ボーイングおよびリズムは C-dur に準ずる

速度，フィンガリングは任意

(2) 練習曲／カプリース

下記の中から任意の1曲を選び、演奏すること

J. Dont 24 Etudes and Caprices op. 35

R. Kreutzer 42 Studies

P. Rode 24 Caprices

N. Paganini 24 Caprices op. 1

注：次のページに続く

(3) 協奏曲

任意の協奏曲より、その第1楽章または終楽章を演奏すること

ただしカデンツァについては、作曲者自身が自作により曲中に納めた場合を除いて省略するものとする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*音階、練習曲／カプリース、協奏曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“ヴィオラで受験する場合”

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ2. 専門実技の(1) 音階の調、(2) 練習曲、(3) 課題曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“ヴァイオリンで受験する場合”

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ2. 専門実技の(1) 音階の調、(2) 練習曲／カプリース、(3) 協奏曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

●外国人留学生入学試験において「管弦打楽器コース：ヴィオラ」と「管弦打楽器コース：ヴァイオリン」を併願する場合は、26ページを参照すること。

管弦打楽器コース：チェロ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

ハ長調, 4オクターブ

速度, 音域, 音型, 運指, 運弓は任意

(2) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階, 自由曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：コントラバス

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

ト長調および変ロ長調，2オクターブ
各音デタシェ奏法で演奏すること
速度は任意

(2) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は本学のものを使用するか各自で用意すること

なお、弓は各自で用意すること

* 音階，自由曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ハーブ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

*楽器は本学のものを使用すること

*繰り返しは省略、暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：フルート

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

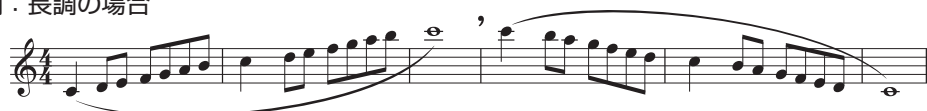
長・短全調，2オクターブ

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、レガートで演奏すること

速度は ♩ = 80

譜例：長調の場合



譜例：短調の場合



(2) 練習曲

Andersen : 24 Studies op. 21 より、任意に選んだ1曲を演奏すること

(3) 課題曲

W. A. Mozart : Konzert für Flöte und Orchester Nr. 1 G-dur K. 313 または Nr. 2 D-dur K. 314 より第1楽章（カデンツァは省く）

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*練習曲は楽譜を見て演奏してもよいが、音階と課題曲は暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*練習曲の繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲，(3) 課題曲の番号を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：オーボエ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

長・短全調（短調は、和声的短音階のみ）

調は当日試験場で指定する

譜例イまたはロのいずれかに従い、レガートで演奏すること

速度は ♩ = 60 ~ 80

譜例：

The image shows two musical staves, labeled 'イ' and 'ロ', representing scale exercises. Both are in 2/4 time and G major. Staff 'イ' shows an ascending scale from G4 to G5, followed by a descending scale from G5 to G4. Staff 'ロ' shows an ascending scale from G4 to G5, followed by a descending scale from G5 to G4, with a fermata over the final G4 note. Both staves have a slur over the entire scale run.

(2) 課題曲または自由曲

下記の (a) から (c) のいずれかを選び、演奏すること

(a) G. F. Handel : Sonata in B Flat for Oboe and Piano (何版でも可) より第1, 第3楽章

(b) J. Haydn : Konzert C-dur für Oboe und Orchester (何版でも可) より第1楽章
(カデンツァは省く)

(c) 自由曲 当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*課題曲または自由曲は繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙 (推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲または自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：クラリネット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) の No. 1

全部の音階の中から、当日試験場で指定する

レガートとスタッカートを1回ずつ演奏すること

速度は♩ = 60 以上

(2) 課題曲

C. Rose : 32 Etudes pour la clarinette d'après FERLING (何版でも可) の下記の6曲の中より、任意の奇数番号曲および偶数番号曲をそれぞれ1曲ずつ(計2曲) 選び、演奏すること
第6番, 第7番, 第10番, 第11番, 第14番, 第15番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*音階, 課題曲, 自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

*伴奏はなし

*繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号, (3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ファゴット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

長・短全調（短調は、和声的短音階のみ）

2オクターブ（ただし、B-dur, H-dur, C-dur, b-moll, h-moll, c-moll は3オクターブ）

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、レガートおよびノンレガートで演奏すること

速度は♩ = 80

譜例：2オクターブ



譜例：3オクターブ



(2) 課題曲

J. Weissenborn : Studies for Bassoon op. 8 vol. II (何版でも可) の曲中、下記イ)、ロ) それぞれのグループから1曲ずつ（計2曲）を選び、演奏すること

イ) 第3番, 第7番, 第10番

ロ) 第6番, 第13番, 第15番

繰り返しは省略せず演奏すること（ただし第15番のみ繰り返しを省く）

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 課題曲は、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：サクソフォーン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

「サクソフォーンのためのトレーニングブック／音楽之友社」より当日指定された調の①を、
スラーでリピートなしで演奏すること

譜例



(2) 練習曲

M. Mule : 48 Etudes pour tous les saxophones, d'après FERLING より、任意の奇数番号曲
および偶数番号曲をそれぞれ1曲ずつ（計2曲）選び、演奏すること

(3) 課題曲

A. Glazunov : Concerto pour saxophone alto et orchestre à cordes op. 109 の練習番号 16 まで

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* いずれの課題も、アルトサクソフォーンで演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、課題曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 繰り返しは省略すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ホルン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること

速度は ♩ = 80

譜例



(2) 練習曲

M. Alphonse : Deux cents études nouvelles mélodiques et progressives pour cor (Alphonse Leduc 版) 第1巻の第1番～第30番より、1曲を当日試験場で指定する

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*練習曲、自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

*伴奏はなし

*繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(3)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：トランペット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

B-dur / Es-dur / As-dur / Des-dur / F-dur / C-dur / G-dur (調名は実音) を譜例に従い、
ノンレガートで演奏すること

調は当日試験場で指定する

速度は任意

譜例



(2) 練習曲

C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet Book 1 の下記の6曲から任意に選んだ
1曲を演奏すること

第8番, 第9番, 第15番, 第17番, 第22番, 第25番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*練習曲, 自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

*伴奏はなし

*繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙 (推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号, (3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：トロンボーン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調, 1 オクターブ
調は当日試験場で指定する
ノンレガートで演奏すること
速度やリズムは任意

(2) 練習曲

Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (何版でも可) No. 1 ~ No.60 より任意に
選んだ1曲を演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*練習曲, 自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

*伴奏はなし

*繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

*別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号, (3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ユーフォニアム

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

へ長調 (F-dur), 変ト長調 (Ges-dur), ト長調 (G-dur), 変イ長調 (As-dur),
イ長調 (A-dur), 変ロ長調 (B-dur) より

2 オクターブ

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること

譜例



(2) 練習曲

J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book 1 の下記の6曲より任意の1曲を選択し、
演奏すること

第3番, 第4番, 第5番, 第6番, 第7番, 第8番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 繰り返しは省略すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙(推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号, (3) 自由曲の曲名を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：チューバ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調，1 オクターブ

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること、各調の開始音は下記のとおり

速度は ♩ = 60

譜例



開始音



(2) 練習曲

M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies for Tuba (Robert King Music 版) の下記の5曲より
任意の1曲を選択し、演奏すること

第2番，第3番，第5番，第7番，第10番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 練習曲，自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 繰り返しは省略すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号，(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：打楽器（小太鼓で受験する場合）

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 基本奏法

1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち

(2) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

(3) マリンバで音階を演奏する

♯および♭が4つまでの長・短調（短調は、和声的短音階および旋律的短音階）

2オクターブ

長調は繰り返すこと

速度は♩ = 90 ~ 120、調は当日試験場で指定する

(4) M. Ravel : Boléro

24ページの楽譜（M. Ravel : Boléro）の旋律部分をピアノ、リズム部分を小太鼓（響線を外した状態）で同時に演奏すること

速度は任意、暗譜で演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (4) の順で演奏すること

* 小太鼓は本学のものを使用するか各自で用意すること

マリンバは本学のものを使用すること

なお、撥は各自で用意すること

* 自由曲は楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 自由曲の繰り返しは任意とする

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：打楽器（マリンバで受験する場合）

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

長・短全調（短調は、和声的短音階および旋律的短音階）

2オクターブ

長調は繰り返すこと

速度は ♩ = 90 ~ 120、調は当日試験場で指定する

(2) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

(3) 小太鼓で基本奏法

1つ打ち、2つ打ち

(4) M. Ravel : Boléro

24ページの楽譜（M. Ravel : Boléro）の旋律部分をピアノ、リズム部分を小太鼓（響線を外した状態）で同時に演奏すること

速度は任意、暗譜で演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (4) の順で演奏すること

* 小太鼓は本学のものを使用するか各自で用意すること

マリンバは本学のものを使用すること

なお、撥は各自で用意すること

* 自由曲は楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 自由曲の繰り返しは省略すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2)自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

打楽器 2. 専門実技の楽譜 (M. Ravel : Boléro)

The image displays a musical score for the percussion part of Maurice Ravel's Boléro. The score is written in 3/4 time and begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The first staff shows a rhythmic pattern of eighth notes with triplet markings. The score consists of ten systems, each with a treble clef staff and a bass clef staff. The music features a variety of rhythmic patterns, including eighth notes, quarter notes, and triplet eighth notes. The dynamic level increases to forte (*f*) in the sixth system. The score concludes with a final cadence in the tenth system.

音楽文化専攻（外国人留学生入学試験のみ）

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. ピアノ

任意のソナタの第1楽章またはソナチネの第1楽章を演奏すること

* 繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは係員が演奏する箇所を指示する場合がある

3. 小論文

与えられた課題にもとづき、600字以上800字以内で論述すること（60分）

出願上の注意

※別紙「2022年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. ピアノの曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

※他の入試コースと併願する場合は、26ページを参照すること。

複数の専攻・入試コースを併願する場合（外国人留学生入学試験のみ）

○外国人留学生入学試験においては次のような組み合わせのみ、複数の専攻・入試コースに出願することができる。

「演奏専攻各コース」と「音楽文化専攻」

「管弦打楽器コース：ヴァイオリン」と「管弦打楽器コース：ヴィオラ」

「管弦打楽器コース：ヴァイオリン」と「管弦打楽器コース：ヴィオラ」と「音楽文化専攻」

○複数の専攻・入試コースに出願する場合の受験内容は次のようになる。

(1) 声楽コースと音楽文化専攻の場合

〔声楽コースの全課題〕 + 〔音楽文化専攻の2. ピアノおよび3. 小論文〕

(2) 鍵盤楽器コースと音楽文化専攻の場合

〔各鍵盤楽器コースの全課題〕 + 〔音楽文化専攻の2. ピアノおよび3. 小論文〕

(3) 管弦打楽器コースと音楽文化専攻の場合

〔各管・弦・打楽器コースの全課題〕 + 〔音楽文化専攻の2. ピアノおよび3. 小論文〕

(4) 管弦打楽器コース（ヴァイオリン）と管弦打楽器コース（ヴィオラ）の場合

この併願は、専門実技をヴァイオリンとヴィオラそれぞれの楽器で受験することも、ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験することもできる（ヴァイオリンの専門実技をヴィオラで受験することはできない）

●ヴァイオリンの専門実技をヴァイオリンで、ヴィオラの専門実技をヴィオラで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題〕 + 〔管弦打楽器コース：ヴィオラの2. 専門実技〕

●ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題（全課題の試験は1回のみ）〕

(5) 管弦打楽器コース（ヴァイオリン）と管弦打楽器コース（ヴィオラ）と音楽文化専攻の場合

この併願は、専門実技をヴァイオリンとヴィオラそれぞれの楽器で受験することも、ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験することもできる（ヴァイオリンの専門実技をヴィオラで受験することはできない）

●ヴァイオリンの専門実技をヴァイオリンで、ヴィオラの専門実技をヴィオラで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題〕 + 〔管弦打楽器コース：ヴィオラの2. 専門実技〕 + 〔音楽文化専攻の2. ピアノおよび3. 小論文〕

●ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題（全課題の試験は1回のみ）〕 + 〔音楽文化専攻の2. ピアノおよび3. 小論文〕